



2021年8月10日

各位

上場会社名 東邦亜鉛株式会社
代表者 代表取締役社長 丸崎 公康
(コード番号 5707)
問合せ先責任者 経理部長 田邊 正樹
(TEL 03-6212-1716)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年5月13日に公表した2022年3月期第2四半期(2021年4月1日～2021年9月30日)及び2022年3月期通期(2021年4月1日～2022年3月31日)の業績予想を、以下のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2021年9月30日)

① 修正の内容

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	55,000	2,500	2,100	1,600	117.84
今回修正予想(B)	56,700	5,200	5,000	4,100	301.79
増減額(B-A)	1,700	2,700	2,900	2,500	
増減率(%)	3.1	108.0	138.1	156.3	
(参考) 前第2四半期実績 (2021年3月期第2四半 期)	45,209	2,976	3,387	2,702	199.03

② 修正の理由

	前回発表	今回修正	増減額	
	百万円	百万円	百万円	
売上高	55,000	56,700	1,700	
営業利益	2,500	5,200	2,700	
（製錬）	1,600	3,600	2,000	（1）
（資源）	50	440	390	（1）
（電子部材）	150	240	90	
（環境・リサイクル）	700	820	120	
（その他）	250	320	70	
経常利益	2,100	5,000	2,900	（2）
当期純利益	1,600	4,100	2,500	（2）

（1） 営業利益

第1四半期ですでに前回公表の上期業績予想を上回ったことから、この上振れ額を取り込む形で上期業績予想を修正しました。具体的には第1四半期実績に第2四半期予想（前回予想値）を加算して、新たな業績予想値を算定しております。第1四半期での主な上振れ要因は以下の通りです。

- ▶ 製錬セグメントは、主に買鉱条件改善、副産物収入増や金属相場上昇に伴う在庫評価損益の増加などの要因から増益となりました。
- ▶ 資源セグメントは、主に金属相場上昇により増益となりました。

（2） 経常利益・当期純利益

営業利益の増加に伴い増益となる見込みです。

2. 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

① 修正の内容

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	108,000	5,400	4,500	3,600	265.13
今回修正予想(B)	109,700	8,100	7,400	6,100	449.01
増減額(B-A)	1,700	2,700	2,900	2,500	
増減率(%)	1.6	50.0	64.4	69.4	
（参考）前期連結実績 （2021年3月期）	103,469	5,894	5,419	5,508	405.67

② 修正の理由

	前回発表	今回修正	増減額
	百万円	百万円	百万円
売上高	108,000	109,700	1,700
営業利益	5,400	8,100	2,700
（製錬）	2,700	4,700	2,000
（資源）	1,100	1,490	390
（電子部材）	350	440	90
（環境・リサイクル）	1,300	1,420	120
（その他）	500	570	70
経常利益	4,500	7,400	2,900
当期純利益	3,600	6,100	2,500

前述の上期業績修正理由に同じで、第1四半期業績の上振れ額を取り込む形で通期業績を上方修正しました。具体的には第1四半期の実績に第2四半期以降は前回公表値を加算して通期業績予想値を算定しております。

（金属価格・為替の予想前提）

	前回公表		今回修正		
	上期 (予想)	通期 (予想)	上期 (予想)	下期 (予想)	通期 (予想)
亜鉛 LME(US\$/t)	2,600	2,600	2,758	2,600	2,679
鉛 LME(US\$/t)	2,000	2,000	2,064	2,000	2,032
銀 LDN(US\$/oz)	24.0	24.0	25.3	24.0	24.7
為替(¥/US\$)	105.00	105.00	107.25	105.00	106.12
為替(US\$/A\$)*	0.767	0.767	0.771	0.767	0.769

*：豪州子会社は12月決算であり、上期は1月～6月、下期は7月～12月となります。

3. 配当予想の修正

第1四半期ですでに前回公表の上期業績予想を上回ったことから上期・通期の業績修正を行うものの、金属相場等の変動要因が残り9か月あることから、現時点では第2四半期以降は前回予想を据え置きとして上期・通期業績予想を算定しました。

配当予想においてもこの考え方を踏襲し、今回は配当予想を据え置きとし、今後の業績予想修正の状況を見ながら、必要に応じて総合的判断を行う予定です。

4. 説明資料

「Q1 連結累計期間決算 IR 資料」を別途 TDnet 及び当社ホームページで開示しておりますのでご参照ください。

(注) 上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後発生する様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上